

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
天理	近畿・奈良	0	1	0	2	0	0	0	3	4	10	11	1
八王子拓真	東京1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5

天理		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	中		飯田 佳伸	5	2	3	0	中2		遊飛		投ゴ							
2	左		松下 賢太郎	5	1	1	1	二飛			三ゴ	中飛							
3	二		田頭 史也	3	2	0	0	二ゴ			四球		三振						
4	遊		西井 旬進	4	2	1	1		中安		投飛		三振						
5	捕		山本 侃	5	2	3	3		三ゴ		中安		投飛						
6	三		福澤 眞林	3	0	1	1		遊ゴ		三失			四球	四球	左2	右本		
7	一		小川 正直	4	0	0	1		投ゴ		遊ゴ			一ゴ	四球	遊ゴ			
8	投		辰己 優貴	4	0	0	0			三ゴ		三振		三振	遊ゴ				
8	投		九島 恒	0	0	0	0												
9	右		加藤 幸	4	1	2	0			三振		中安			二ゴ	中安			
合計				37	10	11	7	残塁:6		併殺:0									
備考																			

■バッテリー

投手
辰己 優貴
九島 恒

捕手
山本 侃

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
辰己 優貴	8	26	3	5	1	0
九島 恒	1	4	1	0	0	0

八王子拓真		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	遊		坂本 光	4	0	1	0	三振		二ゴ			三振						
2	二		高沼 一利	4	0	0	0	三振			投ゴ		二ゴ						
3	投		小林 遼	4	0	1	0	左2			遊ゴ			右飛		中直			
4	三		小林 祐介	3	0	0	0	遊飛			投ゴ			遊ゴ					
5	捕		杉田 裕矢	3	0	0	0		右飛			一飛		遊ゴ					
6	一		大山 拓海	3	0	1	0		右ゴ			三ゴ			右安				
7	右		常盤 和弘	3	0	0	0		三振			三振			遊ゴ				
8	中		柳川 大介	3	0	1	0			遊安			投飛		遊ゴ				
9	左		島崎 佑也	1	0	0	0			捕犠			四球		遊ゴ				
合計				28	0	4	0	残塁:3		併殺:1									
備考																			

■バッテリー

投手
小林 遼

捕手
杉田 裕矢

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
小林 遼	9	43	12	5	5	6

■戦評

準決勝第2試合はここまで戸塚、東葛飾と関東勢2校との対戦をともに完封で勝ち上がった八王子拓真高校と午前中の準々決勝で朱雀を逆転で下し六連覇にあと二つと迫った天理高校との顔合わせになった。この試合八王子拓真は準々決勝では登板機会がなかった主戦小林遼に、天理はこれまで3試合全て救援登板してきた辰己にそれぞれマウンドを託した。初回は両軍とも得点圏に走者を進めながら無得点に終わる。天理は2回表、先頭の4番西井の安打を足がかりに一死三塁とすると6番福澤の打席でエンドランを敢行。きっちり内野に転がし1点を先制する。対する八王子拓真も3回裏、内野安打と悪送球で無死二塁とし手堅く送り一死三塁と好機を広げるとこちらもエンドランを敢行。しかし空振りになり三塁走者が挟殺され好機を潰す。続く4回表、天理は八王子拓真の守備の乱れを見逃さず2点を追加する。八王子拓真の先発小林遼は中盤以降立ち直りを見せ天理に追加点を与えず味方の反撃を待つ。しかしながら打線は天理の先発辰己の前に4回から7回まで無安打に抑え込まれる。8回表、天理は疲れの見え始めた小林遼から2番松下、5番山本の適時打などで3点を奪い6点差とすると9回にも攻撃の手を緩めず4点を奪い試合を決めた。一矢報いたい八王子拓真であったが8回、9回に安打で出塁するものの天理の好守の前に本塁は遠く、終わってみると10-0の大差となった。これで天理はいよいよ六連覇へ王手をかけた。一方、惜しくも三位となった八王子拓真であったが激戦区東京の第1代表だけあり初出場ながら三位に入る躍進をみせた。また主戦小林遼を中心に守り勝つ野球は全国三位の名にふさわしいものであったことはいうまでもないだろう。